

自然ゆたかなまち

南三陸町



南三陸町産業振興課

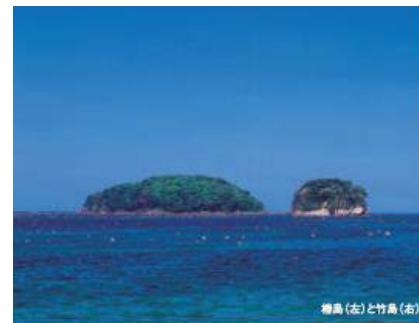
# 南三陸町の場所と特徴



南三陸町の特徴



南三陸町は東北地方の宮城県北部にある小さなまちで、海・山・川の大自然に囲まれています。まちの人々も賑やかで、その故郷には、山の幸や海の幸といった自然の恵みがあふれています。



# 南三陸町の季節風景



春にはきれいな桜が咲き  
夏には大きな花火が輝き  
秋には木の葉が山を彩り  
冬には町が真っ白になる



南三陸町は自然豊かな  
すてきなまちでした



# 東日本大震災

2011.3.11

東日本大震災発生  
大地震が起き、大津波が  
南三陸町を襲いました

# 東日本大震災の影響

その大津波は一瞬にして、南三陸町のまちの風景を海にのみこんでいきました



震災前



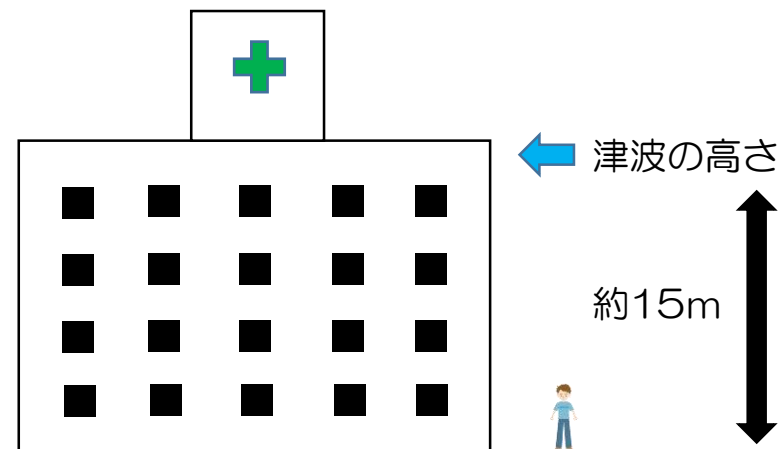
震災後

人口 17,666人  
戸数(住宅) 5,362戸  
※平成23年2月末時点

人口 17,063人(▲603人)  
戸数(住宅) 2,041戸(▲3,321戸)  
※平成23年3月末

# 大津波の高さ

大津波の高さは約15mあり、大きな建物もあつという間にのみこんでいきました



# 東日本大震災の被害



大津波はたくさんのお家やモノだけではなく、尊い「いのち」もたくさん海にのみこんでいきました

## □ 人的被害(命の被害)

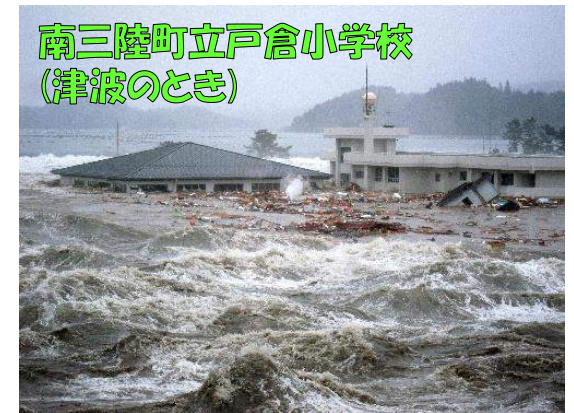
死者 町民571名 行方不明者 町民211名  
計 町民782名 ※町外者を含めると832名(死者620名・不明者212名)  
(平成28年9月30日現在)

## □ 物的被害(建物の被害)

住宅被害 3,321戸※半壊以上  
農地被害 約 462 ha(被災率33%)  
森林被害 約 12 ha  
漁船被害 2,022隻(被災率 94%)  
※被災前の登録漁船隻数 2,152隻



南三陸町立戸倉小学校



南三陸町立戸倉小学校  
(津波のとき)

南三陸町にたくさんあった宝物は、たった一日の間になくなってしまいました

# 復興の始まり

でも、兵庫県のみなさんをはじめ全国のみなさんの応援のおかげで、南三陸の人々は前を向いて頑張ることができました



# 復興の状況(全体)

南三陸町の人々は、全国の応援に来てくれる方々と一緒に、新しいまちをつくるために一生懸命頑張っています！！



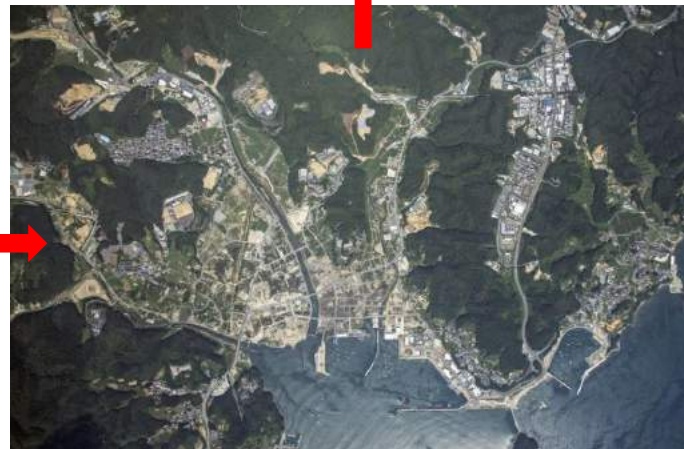
震災前



平成28年2月



震災後



平成25年8月



志津川地区の将来イメージ

# 復興の状況(住宅)



**まちをつくるためには、住むところが必要！新しい家がどんどんできています！！**



○一軒家



平成28年7月には新しい場所がつくられ、新しい家がたくさんできました。



○復興住宅



南三陸町内全8地区で、全738戸数の住宅ができました！



# 復興の状況(町の施設)

家の他にも、まちに必要なものがどんどんできてきました！！

南三陸町立戸倉小学校  
(H27年8月 完成)



南三陸町地方卸売市場  
(H28年6月 完成)



南三陸病院  
(H27年12月 完成)



新しい商店街や学校、  
お魚を取り扱う魚市場、  
そして大きな病院！！  
安心して暮らして  
いけるでちゅ～！！



南三陸さんさん商店街  
(H29年3月 完成)



# 復興の状況(これから)



震災からH29.3.11で6年が経ちます。いろいろな施設ができてきていますが、まだまだ新しいまちが完成するには、もっともっと時間が必要です。みなさんの応援を無駄にしないように、これからも一生懸命頑張って、素敵なまちができるようにしていきたいと思えます！！

これからも  
がんばるっゅ〜！



# 南三陸町の秋サケについて

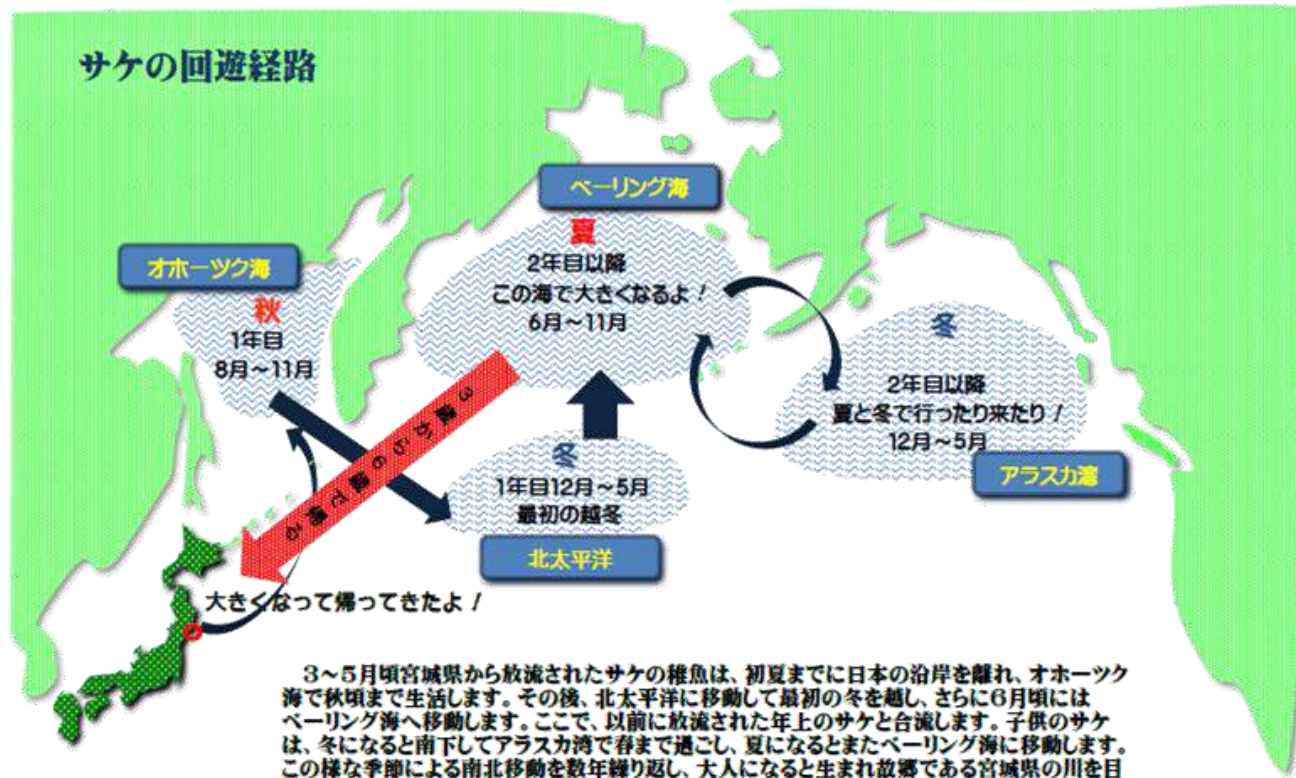
あきさけ

## 秋鮭



ここからは、南三陸の秋サケについて紹介するだこ！  
南三陸町にはたくさんの秋サケが、約3～5年間かけて  
世界中の海を旅した後、自分が生まれた海や川に帰って  
くるだこ！そんな僕の海の友達の秋サケについて、学んで  
みようだこ♪

# 南三陸の秋サケの誕生から産卵まで



3～5月頃宮城県から放流されたサケの稚魚は、初夏までに日本の沿岸を離れ、オホーツク海で秋頃まで生活します。その後、北太平洋に移動して最初の冬を越し、さらに6月頃にはベーリング海へ移動します。ここで、以前に放流された年上のサケと合流します。子供のサケは、冬になると南下してアラスカ湾で春まで過ごし、夏になるとまたベーリング海に移動します。この様な季節による南北移動を数年繰り返し、大人になると生まれ故郷である宮城県の川を目指して再び旅立ちます。



川で生まれたサケが世界中の海をいっぱい旅しているなんて信じられないっゅ～。だからサケは栄養満点なんだっゅ～!! サケは英語を話せるのかな～？

1.川に帰ってきて産卵するサケ



2.目が付いたサケの卵



3.卵から生まれた赤ちゃんサケ



4.川で成長する子どもサケ



5.海で旅をする大人サケ



6.同じ川に帰ってきたサケ



# 秋サケは南三陸町の宝物！？

秋サケは日本の北側でたくさん獲れる魚です。  
 9月から12月あたりの秋に獲れることから「秋サケ」と呼ばれています。南三陸町のサケ類は町内で獲れる水産物の約30%を占め、金額は約60%を占めている町内でNO.1のお魚です。宮城県内でも南三陸町の秋サケの獲れる量は、なんと・・・**NO.1**になっています。  
 秋サケは南三陸町の宝物なんだね～！！



旬の幸カレンダー

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
					サンマ・ホタテ					毛ガニ	
			ハモ		鮭				ワカメ・生カキ・タラ		
潮干狩		生ウニ・銀鮭・ホヤ				生カキ・ドンコ					
	山菜							志津川ダコ・活アワビ			
磯ラーメン											

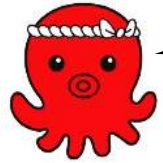


秋サケさん

南三陸のNO.1のお魚こと秋サケと申します。  
 南三陸町はとても良い町だから帰ってきたくなるんだよね～!!  
 兵庫県のみんなもぜひ遊びに来てね～♪



# 秋サケのふ化放流事業



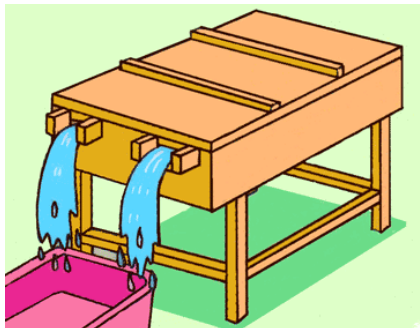
南三陸町では、秋サケがいっぱい帰ってきてくれるように卵のときから海に旅立つ時まで、愛情をいっぱいかけて育ててるんだっゅ〜♪イラストを見て、南三陸町の秋サケの成長の過程を学んでみようだっゅ〜！！



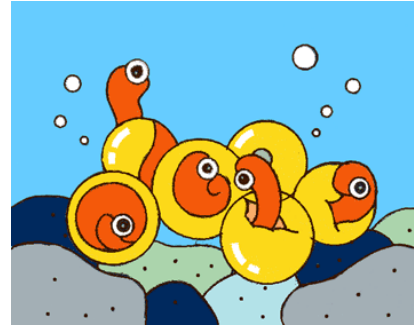
1. 川に帰ってくる秋サケを、あみや捕獲機によって捕まえます。時期は10~12月あたりまで捕まえます。



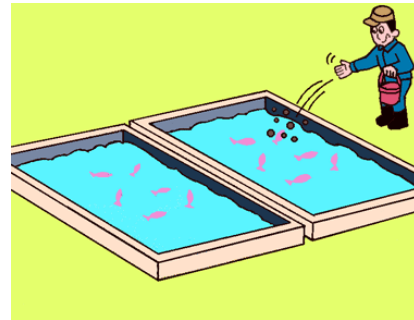
2. 捕まえた秋サケのメスから卵を取り、オスの精子を卵にかけて受精させます。こうすることで、卵から赤ちゃんサケが生まれます。



3. 受精した卵は、ふ化槽の中で、卵に目が付くまで、静かに過ごします。



4. 目が付くまでに約30日かかり、そこからふ化するまでに約30日くらいかかります。



5. 卵からふ化後、約50日あたりから赤ちゃんサケはエサを食べるようになります。みんな自分の子供たちのように愛情いっぱい育てます。



6. 大きくなった子供のサケは川に放流され、海での長い旅に向け、力強く泳いでいきます。そして約4年後に、とても大きくなって帰ってきます。

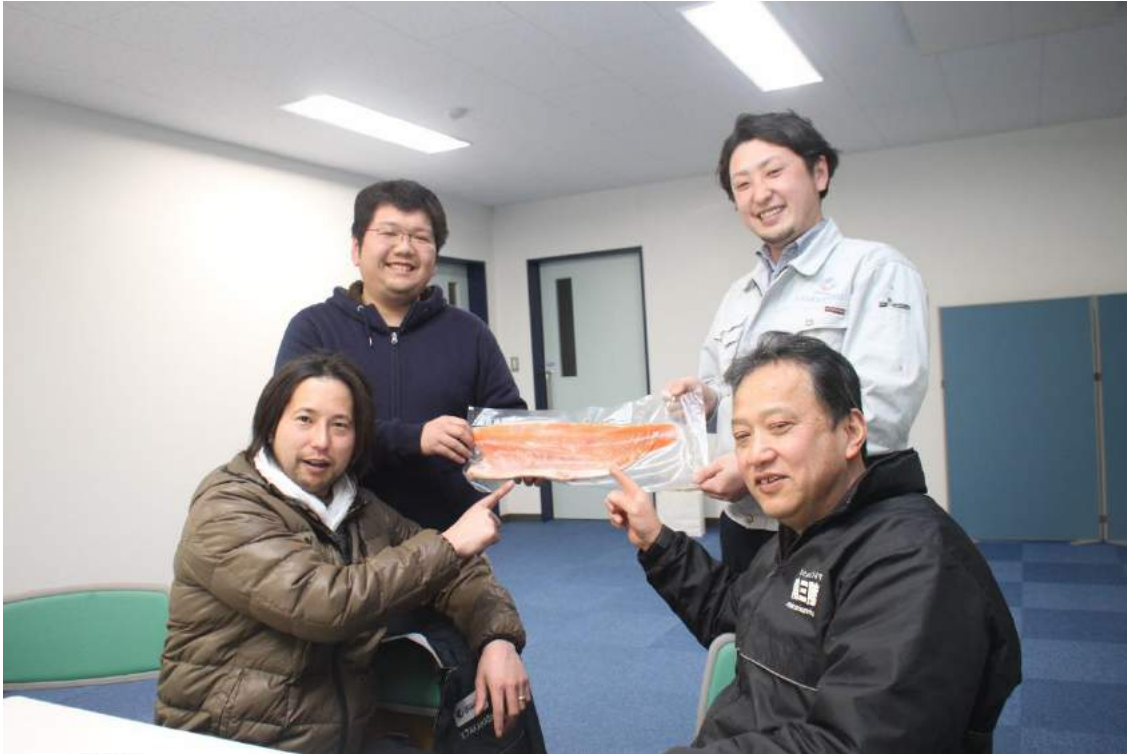
志津川湾水系さけます増殖協会の職員さんたち



南三陸町内で放流事業を行っている、サケ職人の2人。南三陸町の大切な資源となる秋サケを、毎日毎日可愛がって育てています。なんと、2人はサケと会話ができる噂も...!?



# 南三陸町から学校みんなへ



南三陸町で一生懸命頑張っている  
お魚屋さんのお兄さんたち



今回は、南三陸産の秋サケを学校給食でみんなに食べてもらえると聞いて、大変うれしく思っています。南三陸町は間もなく東日本大震災から6年が経とうとしています。6年が経ち、何もなくなっただまぢですが、兵庫県をはじめ全国のみなさんの応援のおかげで少しずつ、すばらしいまちに戻ってきています。まだまだ復興は続きますが、学校給食での秋サケを通して、元気になった南三陸町を知って欲しいと思います。

南三陸町の人々は、みんなの支援があったからこそ、秋サケのように力強く泳ぐように前を向いて歩いてこれました。本当に感謝しています。この南三陸町と兵庫県の絆は、これからも無くなることはなく、この先ずっとあるものだと思います。またおいしい秋サケを食べたくなったら、南三陸町に食べに来てくださいね！！  
みんなに会えるのを楽しみにしてるよ～♪

ありがとう

